

山形県にある授産施設、NPO ホールド(障害者就労継続支援施設 A 型)さんは、仕事作りとして、手づくり太陽電池の制作に取り組んでいます。導入してから一年経ちました。最近の制作風景を送って頂きましたので、紹介します。



代表の池田氏が、導入を決意したのは、東根工業高校で開かれた制作講習会に参加したことによります。これなら仕事として作れると思ったそうです。不況の風が吹き捲くっていた時です。

私達が指導した時は、かなり緊張していたようですが、今ではすっかり板に付いた作業風景です。仕上がりもきれいです。

40W の太陽電池は、町の街灯とか、充電スタンドなど、地元の自治体として活用できるちょうどいい大きさです。地場産エネルギーを積極的に購入して、活用してもらいたいものですね。(2010 年 9 月)